

令和5年度  
事業報告書

公益財団法人アイヌ民族文化財団

# 目 次

第1	概要	1
第2	諸会議の開催	
	評議員会・理事会	1
	各委員会	3
第3	事業実績	
	I アイヌに関する総合的かつ実践的な研究の推進	5
	II アイヌ語の振興	5
	III アイヌ文化の振興	9
	IV アイヌの伝統等に関する普及啓発	16
	V アイヌ文化の伝承者育成	22
	VI 民族共生象徴空間運営事業	23
第4	賛助会員の状況	32
第5	事業報告の附属明細書	32

## 第1 概要

当公益財団は、今日存立の危機にあるアイヌ語やアイヌ伝統文化の保存振興及びアイヌの人々やアイヌの伝統等に関する国民に対する知識の普及啓発を通じ、アイヌの人々が民族としての誇りを持って生活することができ、及びその誇りが尊重される社会の実現を図り、もって全ての国民が相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に資することを目的としており、アイヌに関する総合的かつ実践的な研究の推進、アイヌ語の振興、アイヌ文化の振興、アイヌの伝統等に関する普及啓発及びアイヌ文化の伝承者育成に係る事業、民族共生象徴空間の管理等に係る事業を実施した。

## 第2 諸会議の開催

### 1 評議員会

区分	開催月日・場所	決議事項等
第1回 定時	6月22日(木) ACU-A 札幌	報告事項 報告第1号 令和4年度事業報告について 報告第2号 令和6年度補助事業に係る予算要望について 決議事項 議案第1号 令和4年度決算報告書承認について 議案第2号 評議員選任について 議案第3号 理事選任について 議案第4号 定款の一部変更について
第1回 臨時	3月13日(水) ACU-A 札幌	報告事項 報告第1号 民族共生象徴空間の運営状況について 決議事項 議案第1号 令和5年度収支補正予算書承認について 議案第2号 令和6年度事業計画書承認について 議案第3号 令和6年度収支予算書承認について 議案第4号 令和6年度資金調達及び設備投資の見込みについて 議案第5号 アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律第23条第1項に基づく事業計画書及び収支予算書の認可申請について 議案第6号 評議員選任について

### 2 理事会

区分	開催月日・場所	決議事項等
第1回 定例	6月5日(月) ACU-A 札幌	報告事項 報告第1号 理事長及び常勤の理事の職務執行状況について 決議事項 議案第1号 令和4年度事業報告書承認について 議案第2号 令和4年度決算報告書承認について 議案第3号 令和6年度補助事業に係る予算要望について 議案第4号 重要な組織の変更について 議案第5号 定時評議員会開催について
第1回 臨時	6月22日(木) ACU-A 札幌	決議事項 議案第1号 理事長、副理事長及び専務理事の選定について 議案第2号 代表理事の選定について 議案第3号 重要な使用人を兼ねる理事の選定について 議案第4号 重要な使用人の選任について 議案第5号 報酬を支払う理事の報酬額について
第2回 臨時	10月24日(火) ACU-A 札幌	報告事項 報告第1号 理事長及び常勤の理事の職務執行状況について 報告第2号 令和5年度事業の進捗状況について 報告第3号 令和6年度補助事業に係る予算要望について

区 分	開催月日・場所	決議事項等
第2回 定 例	3月5日(火) ACU-札幌	<p>報告事項 報告第1号 理事長及び常勤の理事の職務執行状況について 報告第2号 民族共生象徴空間の運営状況について</p> <p>決議事項 議案第1号 令和5年度収支補正予算について 議案第2号 令和6年度事業運営方針について 議案第3号 令和6年度事業計画書について 議案第4号 令和6年度収支予算について 議案第5号 令和6年度資金調達及び設備投資の見込みについて 議案第6号 アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律第23条第1項に基づく事業計画書及び収支予算書の認可申請について</p> <p>議案第7号 重要な組織の変更について 議案第8号 役員賠償責任保険の加入の件について 議案第9号 臨時評議員会の開催について</p>

### 3 常任理事会

区 分	開催月日・場所	決議事項等
第1回	5月24日(水) しらおい経済センター	<p>協議事項 第1号 理事長及び常勤の理事の職務執行状況について 第2号 令和4年度事業報告書承認について 第3号 令和4年度決算報告書承認について 第4号 令和6年度補助事業に係る予算要望について 第5号 重要な組織の変更について 第6号 定時評議員会開催について</p>
第2回	10月16日(月) 博物館交流室	<p>協議事項 第1号 令和5年度事業の進捗状況について 第2号 令和6年度補助事業に係る予算要望について</p>
第3回	2月14日(水) 博物館交流室	<p>協議事項 第1号 民族共生象徴空間の運営状況について 第2号 令和5年度収支補正予算について 第3号 令和6年度事業運営方針について 第4号 令和6年度事業計画書について 第5号 令和6年度収支予算書について 第6号 令和6年度資金調達及び設備投資の見込みについて 第7号 アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律第23条第1項に基づく事業計画書及び収支予算書の認可申請について</p> <p>第8号 役員賠償責任保険の加入の件について 第9号 評議員選任について 第10号 臨時評議員会の開催について</p>

#### 4 事業運営委員会

##### ① 委員

職名	氏名
委員長	加藤 忠
副委員長	中村 吉雄
委員	宇梶 良子、宇治 義之、小川 哲也、菊池 基弘、城石 梨奈、菅原 勝吉、戸ノ崎郁美、持田 誠

##### ② 開催状況

区分	開催月日・場所	議事等
第1回	5月17日(水) 北海道中小企業会館 会議室A・B	<p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 副委員長の指名について</li> <li>(2) 令和6年度概算要望について</li> <li>(3) 令和6年度アイヌ語ラジオ講座講師について</li> <li>(4) 「令和4年度アイヌ関連総合研究等助成事業研究報告」掲載審査委員について</li> <li>(5) 令和5年度アイヌ生活文化再現マニュアル企画委員の選考について</li> <li>(6) 令和5年度アイヌ関係資料評価委員の選考について</li> <li>(7) 令和5年度アイヌ工芸品展中長期計画策定委員の選考について</li> <li>(8) 令和5年度アイヌ文化賞等被表彰者選考委員の選考について</li> <li>(9) 令和5年度各種事業に係る委員候補者について</li> <li>(10) 令和5年度青少年国際文化交流研修事業応募者実施概要</li> </ul> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和5年度各種助成事業の申請・採択状況について</li> <li>(2) 令和5年度各種アイヌ語講座及び実践上級講座実施状況について</li> <li>(3) 令和5年度伝承者育成事業実施状況について</li> </ul>
第2回	10月13日(金) 北海道中小企業会館 会議室A・B	<p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和5年度青少年国際文化交流研修事業応募者選考について</li> <li>(2) 令和6年度各種助成要綱について</li> <li>(3) 令和6年度アイヌ工芸品展企画委員会委員について</li> </ul> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和5年度事業進捗状況について</li> <li>(2) 令和6年度概算要望について</li> <li>(3) 令和5年度実践上級講座(伝統文化指導者育成(儀礼))について</li> </ul>
第3回	2月8日(木) 北海道中小企業会館 会議室A・B	<p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和6年度事業実施要領について</li> <li>(2) 令和6年度アイヌ生活文化再現マニュアル企画委員について</li> <li>(3) 令和6年度助成事業審査委員について</li> <li>(4) 「令和5年度アイヌ関連総合研究等助成事業研究報告」掲載審査委員について</li> <li>(5) 令和6・7年度アイヌ文化活動アドバイザー登録候補者について</li> <li>(6) 令和6年度アイヌ関係資料評価委員について</li> <li>(7) 令和6年度アイヌ工芸品展中長期計画策定委員について</li> <li>(8) 令和6年度アイヌ文化フェスティバル・普及啓発講演会に係る出演者について</li> <li>(9) 令和6年度アイヌ工芸作品コンテスト審査委員について</li> <li>(10) 令和6年度アイヌ文化賞等被表彰者選考委員について</li> <li>(11) 令和6年度アイヌ語指導者育成事業の講師について</li> </ul>

区 分	開催月日・場所	議 事 等
		(12) 令和6年度アイヌ語動画講座企画編集委員について (13) 令和6年度アイヌ語弁論大会審査委員について (14) 令和6年度幼児向け絵本（原作）募集に係る選考委員について (15) 令和6年度アイヌ文化普及啓発セミナー開催日程・会場及び講師について (16) 令和6年度各種事業に係る委員候補者について 報告事項 (なし)

## 5 助成事業審査委員会

### ① 委員

任期 (R5. 3. 22 ~ R6. 1. 31)

職 名	氏 名
委員長	菅原 勝吉
副委員長	五十嵐聡美
委 員	木村寿美子、斉藤 大朋、添田 雄二、長野 環、藤原 顕達

### ② 開催状況

区 分	開催月日・場所	議 事 等
第1回	3月29日(水)～30日(木) 北海道中小企業会館 会議室A・B	令和5年度各種助成事業(1次)に係る審査・選考 ①伝統工芸複製 ②国内文化交流 ③国際文化交流 ④風俗慣習に関する伝承 ⑤出版 ⑥伝統工芸展示公開 ⑦研究
第2回	6月9日(金)～16日(金) 書面審査	令和5年度各種助成事業(2次)に係る審査・選考 ①研究

### 第3 事業実績

#### I アイヌに関する総合的かつ実践的な研究の推進

##### 1 アイヌ関連研究事業

アイヌに関する総合的・実践的研究を行う事業及び研究成果などの出版に対して助成を行い、アイヌの社会や文化に関する研究の推進を図った。

##### ① 研究・出版助成

- ・研究助成 アイヌの社会や文化に関する総合的・実践的研究を行うものの中で、優れた研究成果の期待できる研究計画に対し経費を助成した。
- ・出版助成 アイヌの社会や文化に関する出版物で、商業ベースに乗らないものや自費出版のため発行部数が少なく、研究者などに行き渡らないものについて助成した。

(単位：千円)

区 分	予算額		申請実績		交付実績		
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
研究助成	一般	4	4,600	7	8,294	4	3,766
	奨励	2	600	1	284	0	0
出版助成		8	9,600	1	1,314	0	0
合 計		14	14,800	9	9,892	4	3,766

##### ② 研究成果集

- ・登載審査委員一覧

役職名	氏 名	摘 要
委 員	小川 哲也	令和5年度アイヌ民族文化財団事業運営委員
委 員	斉藤 大朋	令和5年度アイヌ民族文化財団助成事業審査委員
委 員	菅原 勝吉	令和5年度アイヌ民族文化財団助成事業審査委員長
委 員	出利葉浩司	放送大学分担講師
委 員	持田 誠	令和5年度アイヌ民族文化財団事業運営委員

- ・審査（在宅審査）

審査期間	審査対象成果品	摘 要
10月中旬～11月下旬	5件	各審査委員に成果品のコピーを送付し、在宅審査を行う。

- ・研究成果集の刊行

タイトル	作成時期	作成数	主な配布先
アイヌ関連総合研究等助成事業 研究報告第23号	3月	900冊	道内市町村教育委員会、主な公共図書館、大学 付属図書館、博物館、北海道アイヌ協会等の アイヌ関係団体、研究機関

#### II アイヌ語の振興

##### 1 アイヌ語教育事業

##### ① 指導者育成

アイヌ語教育の充実に向けて、アイヌ語研究者などの協力を得て、アイヌ語の文法や言語学の基礎を踏まえた効果的な指導方法などについての学習機会を提供し、アイヌ語指導者の育成を図った。

##### (7) 講師一覧

氏 名	摘 要
北原モコットウナシ	北海道大学アイヌ・先住民研究センター教授
佐藤 知己	北海道大学大学院文学研究院教授

氏名	摘要
中川 裕	千葉大学名誉教授
八谷 麻衣	令和4年度アイヌ語指導者育成事業講師

アイヌ民族文化財団職員（民族共生象徴空間運営本部）

氏名	摘要
中井 貴規	国立アイヌ民族博物館研究学芸部教育普及室研究主査
山丸 賢雄	文化振興部体験教育課主事

#### (イ) 講師会議

開催日	開催場所	協議事項等
5月9日（火）	財団会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォローアップ参加希望結果について</li> <li>・フォローアップカリキュラムについて</li> <li>・令和5年度第13期第1回スクーリング実施に係るカリキュラム等について</li> <li>・その他</li> </ul>
10月28日（土）	北農健保会館	・令和5年度第2回スクーリングのカリキュラムについて
11月25日（土）	北農健保会館	・令和5年度第3回スクーリングのカリキュラムについて
2月19日（月）	財団会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度アイヌ語指導者育成事業実施に係る総括等について</li> <li>・令和6年度アイヌ語指導者育成事業実施に係る日程及び会場について</li> </ul>

#### (ウ) スクーリング

開催期間	開催場所	受講生
10月27日（金）～10月29日（日）	北農健保会館	一ノ関清美 岡本 朋也 川上 夏希 西山 涼 平村 太幹 結城 泰 吉村真美子
11月24日（金）～11月26日（日）	北農健保会館	
12月8日（金）～12月10日（日）	北農健保会館	

#### (エ) フォローアップ講座

開催期間	開催場所	受講生
6月23日（金）～6月25日（日）	苫小牧市民会館 北海道大学苫小牧 研究林	上河 彩 川上さやか 木村 梨乃 葛野 大喜 工藤 小夜 作田 悟 多原亜希子 多原 良子 早坂 駿 山道ヒビキ

### ② 上級講座

アイヌ語教育の充実に向けて、アイヌ語研究者などの協力を得て、中級話者を対象に地域において講座を開設し、将来、アイヌ語の指導者となる上級話者の育成を図った。

開催地区	講師	受講者数	開催期間	開催回数
東京	中川 裕	15	4月22日（土）～3月23日（土）	12
阿寒	藤村 久和	5	11月3日（金）～2月24日（土）	16
帯広	安藤日出通	4	8月23日（水）～12月6日（水）	16
白老	大須賀るえ子	4	6月4日（日）～10月8日（日）	16
平取	関根 健司	5	6月9日（金）～2月9日（金）	16
三石	大野 徹人	5	6月2日（金）～2月9日（金）	16

### ③ 初級講座

#### (ア) 親と子のアイヌ語学習

アイヌ民族の親子を対象とし、アイヌ語話者及びアイヌ語研究者の協力を得て、アイヌ語の振興及び

アイヌの伝統や文化の保存を図った。

開催地区	講師	受講者数	開催期間	開催回数
東京	米澤 諒	5家族14名	4月 8日 (土) ～ 3月23日 (土)	22
札幌	川上 夏希	3家族 8名	6月 2日 (金) ～ 2月29日 (木)	22

#### (イ) 入門講座

アイヌ語伝承者のさらなる掘り起こしと裾野の拡大を目的にアイヌ語を学習、習得及び継承しようとする意欲のある未経験者を対象とした入門講座を実施し、中級話者及び上級話者の育成につなげた。

開催地区	講師	受講者数	開催期間	開催回数
東京	成田 英敏	16名 (累計202名)	5月10日 (水) ～ 3月13日 (水)	20
旭川	川村 久恵	7名 (累計 48名)	7月 1日 (土) ～ 1月27日 (土)	20
釧路	奥田 幸子	14名 (累計 95名)	5月18日 (木) ～ 10月 5日 (木)	15
札幌	多原 良子	17名 (累計 94名)	6月 3日 (土) ～ 11月 4日 (土)	20
白老	山丸 賢雄	37名 (累計182名)	6月 2日 (金) ～ 12月17日 (日)	20
平取	木村 梨乃	24名 (累計118名)	6月 6日 (火) ～ 12月26日 (火)	19
むかわ	押野千恵子	15名 (累計111名)	6月 2日 (金) ～ 10月27日 (金)	20

## 2 アイヌ語普及事業

### ① アイヌ語発信講座

#### (7) ラジオ講座

アイヌ語を広く一般に普及させるため、初心者向けのアイヌ語講座をSTVラジオから放送し、多くの人にアイヌ語に触れ、学習する機会を提供するとともに、アイヌ語やアイヌ文化への理解の促進を図った。

##### (a) 放送内容

放送局	放送日・放送時間	講師
STVラジオ	毎週日曜日あさ7:00～7:15	木村 梨乃

##### (b) テキスト

種別	作成時期	作成数	主な配布先
令和5年度Vol.2 (7月～9月放送分)	6月	3,300	各アイヌ協会、博物館、図書館、各アイヌ語教室、アイヌ語関係者など
令和5年度Vol.3 (10月～12月放送分)	9月	3,300	
令和5年度Vol.4 (1月～3月放送分)	12月	3,300	
令和6年度Vol.1 (4月～6月放送分)	3月	3,000	

#### (イ) 動画講座

アイヌ語を広く一般に普及させるため、初心者向けのアイヌ語の動画講座をインターネットで配信し、多くの人にアイヌ語に触れ、学習する機会を提供するとともにアイヌ語やアイヌ文化への理解の促進を図った。

##### (a) 配信内容

配信動画	配信方法
年間22本制作	動画共有サービス YouTube

##### (b) 企画編集委員一覧

役職名	氏名	摘要
委員長	中川 裕	千葉大学名誉教授
委員	北原モコットウナン	北海道大学アイヌ・先住民研究センター教授
委員	佐藤 知己	北海道大学大学院文学研究院教授
委員	関根 健司	平取町教育委員会生涯学習課アイヌ文化学習係

アイヌ民族文化財団職員 (民族共生象徴空間運営本部)

役職名	氏名	摘要
委員	荒田このみ	文化振興部体験教育課主任
委員	山丸 賢雄	文化振興部体験教育課主事

**(c) 企画編集委員会**

開催日	開催場所	協議事項等
4月18日(火)	財団会議室	・令和5年度の進め方について(令和4年度を踏まえて) ・令和5年度の動画内容について
6月6日(火)	財団会議室	・令和5年度の動画内容について

**② 弁論大会**

アイヌ語を学んでいる人々の学習成果を発表する場として、アイヌ語による弁論大会を開催し、その学習意欲の向上を図るとともに、開催地域の人々にアイヌ語を直接耳にする機会を設けアイヌ語の普及を図った。

**(ア) 開催日**

12月2日(土)

**(イ) 開催場所**

かでのアスピックホール

**(ウ) 出場者**

募集期間 7月3日(月)～9月29日(金)

区分	発表内容	出場者数	受賞者数
子どもの部	自由	6組11名	3
大人の部	口承文芸部門	11組11名	3
	弁論部門	4組4名	3
口演の部	自由	3組3名	—

**(イ) アイヌ語弁論大会審査委員一覧**

役職名	氏名	摘要
委員長	菅原 勝吉	新ひだか町民族文化専門員
委員	大野 徹人	様似町教育委員会生涯学習課社会教育係学芸員補
委員	中井 貴規	国立アイヌ民族博物館研究学芸部教育普及室研究主査
委員	成田 英敏	令和4年度アイヌ語入門講座東京会場講師
委員	山道ヒビキ	文化振興部伝統芸能課主任

**(オ) 受賞者一覧**

区分	発表内容	受賞者	
最優秀賞	子どもの部	自由 北澤 たみ(京都府)	
	大人の部	口承文芸部門	白鳥 文秋(札幌市)
弁論部門		鈴木 昭(東京都)	
優秀賞	子どもの部	自由 アッ&ウパシチリ(静岡県) Tokapci un kur santek ekattar(札幌市)	
	大人の部	口承文芸部門	鬼頭さおり(和寒町) 新町 征也(平取町)
		弁論部門	一瀬 雄太(東京都) 清水 友登(東京都)

**(カ) 成果品**

種別	作成時期	作成数	主な配布先
出場者募集ポスター	6月	1,000	各アイヌ協会、博物館、図書館、各アイヌ語教室、アイヌ語関係者など
出場者募集チラシ	6月	5,000	
来場者募集チラシ	10月	5,000	
プログラム	12月	250	来場者へ配布
報告用動画	1月	—	財団ホームページにて公開

### Ⅲ アイヌ文化の振興

#### 1 アイヌ文化伝承再生事業

##### ① マニュアル作成

アイヌの伝統的な生活文化には、有形・無形を含め様々なものがあり、その製作技術や儀礼などが失われつつあることから、テーマ毎に映像と活字による「アイヌ生活文化再現マニュアル」を作成し、広く人々の利用に供して、製作技術などの保存・伝承を図った。

##### (7) 成果品

種別	作成時期	作成数	主な配布先
活字マニュアル 料理 (浦河)	12月	320	博物館、図書館、各アイヌ協会、アイヌ関係団体など
映像マニュアル 料理 (白糠)	3月	350	
アイヌ文化伝承活動アーカイブスVol. 8	3月	1,000	

##### (イ) マニュアル作成企画委員一覧

役職名	氏名	摘要
委員長	山崎 幸治	北海道大学アイヌ・先住民研究センター教授
委員	石井 美香	アイヌ工芸家
委員	城石 梨奈	釧路市立博物館学芸員
委員	結城 幸司	版画家
委員	若園雄志郎	宇都宮大学地域デザイン学部准教授

##### (ウ) 企画委員会

開催日	開催場所	協議事項
1月26日 (金)	財団会議室	・アイヌ文化伝承活動アーカイブスVol. 8 映像の試写及び修正点検討 ・アイヌ文化伝承活動アーカイブスVol. 9 出演者検討

##### ② 実践上級講座

##### (7) 口承文芸伝承者 (語り部) 育成

ユカラ (英雄叙事詩)、カムイユカラ (神々の物語)、ウエペケレ (昔話) などの口承文芸の伝統を継承するため、伝承者が継承者へ「語り」を直接指導するなどして、新たな語り部の育成を図った。

開催地区	伝承者	継承者数	開催期間	開催回数
札幌	多原 良子	5	8月 7日 (月) ~ 12月 4日 (月)	15
平取	木幡サチ子	5	6月 6日 (火) ~ 8月 1日 (火)	15
	貝澤ユリ子		9月 5日 (火) ~ 12月12日 (火)	
むかわ	大森きよ子	4	6月 5日 (月) ~ 9月11日 (月)	15

##### (イ) 伝統文化 (木彫・刺繍等) 指導者育成

アイヌの人々が多く居住する北海道や関東地区において、アイヌの民族舞踊や刺繍、木彫などの講座を開設し、アイヌ文化を担う指導者の育成を図った。

開催地区	講座種別	講師	受講者数	開催期間	開催回数
東京	刺繍	宇梶 良子	8	4月23日 (日) ~ 3月24日 (日)	12
	木彫	吉村 政彦	7	6月 4日 (日) ~ 3月 3日 (日)	9
	音楽	千葉 伸彦	9	6月 4日 (日) ~ 3月 3日 (日)	9
旭川	木彫	藤戸 幸夫	5	6月 3日 (土) ~ 7月18日 (火)	12
旭川	編物	堀 悦子	5	7月 8日 (土) ~ 10月15日 (日)	12
厚真	木彫	高野 繁廣	13	6月 8日 (木) ~ 8月24日 (木)	12
浦幌	刺繍	廣川 和子	10	6月 6日 (火) ~ 6月29日 (木)	12
浦幌	編物	廣川 和子	8	10月 3日 (火) ~ 12月26日 (火)	12
長万部	刺繍	桑原 由恵	9	6月28日 (水) ~ 1月24日 (水)	12
釧路	木彫	伊藤 夕美	9	10月 2日 (月) ~ 11月14日 (火)	12
札幌	舞踊	杉村 忍	8	6月 8日 (木) ~ 9月28日 (木)	12

開催地区	講座種別	講師	受講者数	開催期間	開催回数
札幌	木彫	小川 俊和	7	6月9日(金)～7月22日(土)	12
札幌	編物	長縄由加利	8	6月11日(日)～8月5日(土)	12
札幌	音楽	石井 美香	6	6月13日(火)～8月8日(火)	12
札幌	刺繍	飯田 米子	7	7月5日(水)～8月10日(木)	12
札幌	刺繍	藤岡 良子	14	6月25日(日)～11月30日(木)	12
札幌	木彫	早坂 雅賀	9	8月27日(日)～12月27日(水)	12
様似	刺繍	竹内 明美	9	10月7日(土)～12月17日(日)	12
標津	編物	竹内 明美	11	6月16日(金)～9月15日(金)	12
白老	刺繍	山崎シマ子	8	6月15日(木)～2月22日(木)	12
白老	刺繍	吉国 幸子	9	6月16日(金)～10月20日(金)	12
伊達	木彫	高野 繁廣	11	9月27日(水)～11月9日(木)	12
鶴居	木彫	八重 清敏	5	9月1日(金)～9月29日(金)	12
洞爺湖	刺繍	芳賀美津枝	4	5月25日(木)～2月22日(木)	12
豊浦	刺繍	芳賀美津枝	5	6月14日(水)～11月22日(水)	12
登別	木彫	山田 祐治	9	10月1日(日)～11月19日(日)	12
平取	木彫	高野 繁廣	6	7月24日(月)～12月11日(月)	12
本別	刺繍	山本 栄子	5	6月29日(木)～9月21日(木)	12
本別	木彫	藤戸 幸夫	7	8月5日(土)～10月22日(日)	12
幕別	刺繍	廣川 和子	9	7月6日(木)～9月28日(木)	12
むかわ	木彫	澤本 幸雄	6	9月27日(水)～11月16日(木)	12
芽室	編物	吉根とみ子	9	7月9日(日)～2月25日(日)	12
財団	儀式	平村 博	8	10月28日(土)～12月17日(日)	10

#### (ウ) 成果発表会の開催

##### (a) 審査委員

役職名	氏名	摘要
委員	弓野 恵子	東京アイヌ協会会員
委員	丸子美記子	関東ウタリ会会長

##### (b) 審査会

開催日	開催場所	審査対象作品	協議事項等
3月1日(金)	アイヌ文化交流センター	23点	一次審査～二次審査

##### (c) 表彰式・展示

区分	開催日または期間	開催場所	来場者数
表彰式	3月2日(土)	アイヌ文化交流センター	39
展示	3月1日(金)～3月8日(金)		

##### (d) 受賞者一覧

賞区分	受賞者	部門	作品名
優秀賞	—	—	—
入選	佐藤 佳子	編物・織物・刺繍の伝統的作品部門	チヂリ
奨励賞	島田あけみ	編物・織物・刺繍の伝統的作品部門	チヂリ
	山下とみ子	編物・織物・刺繍の伝統的作品部門	ルウンペ

### ③ 伝統工芸複製助成

アイヌの伝統的な工芸技術などを伝承するため、複製品製作を行う個人や団体に対して経費の一部を助成し、その伝承意欲や知識、技術の向上を図った。

(単位：千円)

予算額		申請実績		交付実績	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
19	9,900	33	9,933	30	8,746

#### ④ 風俗慣習に関する伝承事業

アイヌ文化振興の一環として、文化継承者として次世代を担う人たちが、豊富な経験や知識を有するエカシ、フチからアイヌの風俗や慣習について継承する取り組みに要する経費の一部を助成し、アイヌ文化伝承活動の促進を図った。

(単位: 千円)

予算額		申請実績		交付実績	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
5	1,250	2	318	2	244

## 2 アイヌ文化交流事業

### ① アイヌ文化交流事業

#### (7) 国内文化交流助成

アイヌ文化の伝承者などを招聘し、アイヌ語や民族舞踊、木彫などを学習・鑑賞・体験しようとする事業に対して経費の一部を助成し、アイヌ文化の理解の促進を図った。

(単位: 千円)

区分	予算額		申請実績		交付実績	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
道内実施	30	30,000	80	56,228	75	43,340
道外実施	12	18,000	4	5,330	4	4,829
合計	42	48,000	84	61,558	79	48,169

#### (1) 国際文化交流助成

アイヌ文化活動に携わる個人または団体が、海外先住民族などとの交流を通して、その文化の伝承・保存活動などを学ぶとともに、自らの文化を紹介するため、海外への派遣や海外から招聘する国際交流事業に対して経費の一部を助成し、アイヌ文化の振興と普及啓発を図った。

##### (a) 派遣事業

アイヌ文化活動に携わる個人または団体が、海外で文化交流活動を行う事業

##### (b) 招聘事業

アイヌ文化の活動に関するセミナーなどを国内で開催する際に、海外から講師などを招聘する事業

(単位: 千円)

区分	予算額		申請実績		交付実績	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
派遣事業	3	2,800	0	0	0	0
招聘事業	2	800	2	2,000	1	658
合計	5	3,600	2	2,000	1	658

### ② 青少年国際文化交流研修事業

アイヌ文化の伝承・保存に関心を持つ青少年について、海外の少数民族や先住民族と交流する場を設け、海外における文化伝承・保存活動の先進事例を学ぶことにより、将来のアイヌ文化の担い手としての自覚を喚起し、以て若年層のアイヌ文化伝承・保存活動への意欲向上を図るとともに伝承基盤の強化を図った。

・募集期間 5月24日(水)～8月21日(月) (募集期間延長後)

・応募者数 11名

・事前研修(研修生6名 事務局3名 協力者1名)

実施日	場 所
11月11日(土)～11月12日(日) 2月3日(土)～2月4日(日)	国立日高青少年自然の家

・海外研修(研修生6名 事務局3名 協力者3名)

実施日	実施地域
2月19日(月)～2月24日(土)	ニュージーランド(タラナキ)

### 3 アイヌ文化普及事業

#### ① 伝統工芸展示・公開助成

アイヌの伝統的な工芸技術などを伝承するため、優れた工芸品の展示・公開を行う個人や団体に対して、経費の一部を助成し、伝承意欲や知識、技術の向上を図った。

(単位：千円)

予算額		申請実績		交付実績	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
4	2,000	7	2,981	6	2,247

#### ② アドバイザー派遣

アイヌの伝統や文化についての理解を深め、技術を学ぼうとする文化団体や学校などからの要請に応じて、専門的な知識や技術等を有する人をアドバイザーとして派遣するとともに、各種学校向けにアイヌ文化体験講座をメニュー化した「学校向け（パッケージ）派遣」を設け、アイヌ文化の振興を図った。

(7) 委 嘱 255名

(イ) 派遣実績 392件 延713人 (学校派遣：小学校172件、中学校32件、高校38件)

#### ③ 工芸品展

アイヌの伝統的な工芸技術を用いて製作されたアイヌ民族衣装、生活用具、儀礼用具、民芸品等を広く一般に公開するため、「アイヌ工芸品展」を開催し、アイヌ文化に関する知識の普及啓発及び伝承意欲の向上等の促進を図った。

##### (7) 工芸品展企画委員

###### (a) 企画委員名簿

役職名	氏名	摘要
委員長	五十嵐聡美	北海道立近代美術館学芸部長
委員	北原モコトウナン	北海道大学アイヌ・先住民研究センター教授
委員	佐々木利和	北海道大学アイヌ・先住民研究センター招へい教員
委員	佐藤 友哉	元札幌芸術の森美術館館長
委員	丹野 汀	一宮市三岸節子記念美術館学芸員
委員	成河 端子	一宮市三岸節子記念美術館学芸員
委員	村山 美波	北海道立近代美術館学芸員
委員	山崎 幸治	北海道大学アイヌ・先住民研究センター教授

###### (b) 企画委員会

開催日	開催場所	協議事項
6月9日(金)	財団会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出品資料の選定</li> <li>・展示および図録構成</li> <li>・今後のスケジュールについて</li> </ul>

##### (イ) 展覧会

###### (a) 工芸品展名称

「AINU ART—モレウのうた」

###### (b) 出品協力先等

国立アイヌ民族博物館、八雲町郷土資料館、八雲産業株式会社、徳川林政史研究所、北海道立北方民族博物館、鶴雅ホールディングス株式会社、国立歴史民俗博物館

###### (c) 道外会場

- ・会 期 9月16日(土)～11月19日(日)
- ・会 場 一宮市三岸節子記念美術館(愛知県)
- ・来場者数 4,201名

・関連事業

区 分	内 容 等
アーティストトーク	開催日 ① 9月16日(土) ② 10月22日(日) 講 師 ① 藤戸 康平(本展出品作家) ② 貝澤 徹(本展出品作家)、関根 真紀(本展出品作家) 聞き手 五十嵐聡美(北海道立近代美術館学芸部長) 来場者数 ① 26名 ② 101名
子ども向け ワークショップ	開催日 9月30日(土) 講 師 小笠原小夜(本展出品作家) 対 象 小学生 参加者数 21名
ムックリ体験 & トンコリ演奏	開催日 10月8日(日) 講 師 宇佐 恵美(ペウレ・ウタリの会会長) 対 象 小学生以上 参加者数 32名
アイヌ刺繍 ワークショップ	開催日 10月14日(土) 講 師 檜木貴美子(本展出品作家) 対 象 中学生以上 参加者数 10月14日(土) 8名
講演会	開催日 11月12日(日) 講 師 ① 山崎 幸治(北海道大学アイヌ・先住民研究センター教授) 「アイヌ民族の造形について」 ② 大谷 茂之(八雲町教育委員会) 「発祥100周年目前!木彫り熊の歴史アレコレ」 来場者数 ① 45名 ② 38名

(d) 道内会場

- ・会 期 1月13日(土)～3月10日(日)
- ・会 場 北海道立近代美術館(札幌市)
- ・来場者数 9,556名
- ・関連事業

区 分	内 容 等
オープニングイベント トゥレップオンwithキンビkids	開催日 1月13日(土) タイトル ①「トゥレップオンとあそぼう!アイヌ語巨大カルタ」 ②「アイヌ刺繍&トンコリ・ムックリちらっと体験」 講 師 ① なし ② 刺 繍 西田香代子(本展出品作家) 西山 知花 トンコリ Pette ムックリ 邊泥 文絵 参加者数 123名
アーティストトーク	開催日 ① 1月27日(土) ② 2月17日(土) ③ 3月2日(土) タイトル 「ものづくりの現場から」(①～③共通) 講 師 ① 貝澤 徹(本展出品作家)、下倉 洋之(本展出品作家) ② 結城 幸司(本展出品作家)、藤戸 康平(本展出品作家) ③ 関根 真紀(本展出品作家)、小笠原小夜(本展出品作家) 聞き手 五十嵐聡美(北海道立近代美術館学芸部長) 来場者数 ① 99名 ② 120名 ③ 120名

(ウ) 常設展示

アイヌ文化交流センター内展示スペース、新函館北斗駅等に財団所蔵資料を常設展示

(エ) 現代アイヌ工芸品の展示

(a) ギャラリー展示

- ・名称 「うけつぐAINU ART—モレウのうた連携企画展」
- ・会期 1月22日(月)～3月4日(月)
- ・会場 札幌グランドホテル
- ・来場者数 1,163名

(b) ロビー展示

- ・会場 北海道庁本庁舎1階、胆振総合振興局、東京都人権プラザ

(オ) 貸出

- ・所蔵資料 14件、所蔵写真 9件、学習トランク 19件

④ 文化フェスティバル

北海道及び北海道外において、広く一般の人々を対象に、民族舞踊をはじめとするアイヌ文化を総合的に紹介するアイヌ文化フェスティバルを開催し、アイヌ民族やアイヌ文化への国民的な理解の促進を図った。

開催日・開催地	内 容	来場者数
5月20日(土) 島根県松江市 島根県民会館 大ホール	◇基調講演 佐々木利和(北海道大学アイヌ・先住民研究センター招へい教員) 「北海道と島根県—アイヌ文化を中心に」 ◇口承文芸 Ankes(木村 梨乃・新町 征也) ◇音楽公演 ハウハウケ(千葉 伸彦) ◇古式舞踊 アンコラチメノコウタラ ◇木彫実演 荒木 繁 ◇刺繍実演 山本みい子	442
8月19日(土) 東京都千代田区 有楽町朝日ホール	◇絵本朗読 五十嵐いおり ◇口承文芸 飯塚 潔子 ◇音楽公演 アイヌアートプロジェクト ◇古式舞踊 浦河アイヌ文化保存会 ◇木彫実演 高野 繁廣 ◇刺繍実演 石井 美香	566
1月13日(土) 沖縄県那覇市 那覇文化芸術劇場 なはーと	◇基調講演 甲地 利恵(北海道博物館アイヌ民族文化研究センターアイヌ文化研究グループ研究職員) 「アイヌの伝統音楽について」 ◇音楽公演 琉球舞踊柳清本流和華良舞の会 ◇口承文芸 岡本 朋也 ◇古式舞踊 帯広カムイトウウポポ保存会 ◇木彫実演 吉村 政彦 ◇刺繍実演 堀 悦子	805
1月20日(土) 北海道札幌市 道新ホール	◇基調講演 池谷 和信(国立民族学博物館人類文明誌研究部教授) 「世界のなかでのアイヌのビーズ」 ◇口承文芸 川上 容子 ◇古式舞踊 春採アイヌ古式舞踊釧路リムセ保存会 ◇木彫実演 西山 涼 ◇刺繍実演 杉村 忍	407

4 アイヌ文化活動表彰事業

① 工芸作品コンテスト

アイヌの伝統的な技術による工芸作品やその技術を活用した現代的創作作品のコンテストを開催し、優秀

な作品を表彰して製作技術の向上と芸術創作活動を促進するとともに、応募作品を展示し、アイヌ工芸作品を鑑賞する機会を提供した。

#### (7) アイヌ工芸作品コンテスト審査委員一覧

役職名	氏名	摘要
委員長	八重 清敏	優秀工芸師
副委員長	貝澤 和明	公益社団法人北海道アイヌ協会事務局長
委員	印南 小冬	北海道立総合研究機構産業技術環境研究本部ものづくり支援センター 開発推進部ものづくりデザイングループ研究職員
委員	岡田 育子	優秀工芸師
委員	菅原 慶郎	東京理科大学長万部キャンパス教育部講師
委員	藤谷るみ子	伝統工芸家
委員	若園雄志郎	宇都宮大学地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科准教授

#### (i) 審査委員会

開催日	開催場所	審査対象作品	協議事項等
7月27日(木)	かでの2・7	140点	・委員長の互選 ・一次審査及び二次審査 ・受賞作品決定

#### (ii) 表彰式・展示

区分	開催日または期間	開催場所	来場者数
表彰式	7月31日(月)	かでの2・7	531
展示	7月28日(金)～7月31日(月)		
巡回展示	8月18日(金)～8月23日(水)	有楽町朝日ギャラリー	588
巡回展示	11月10日(金)～11月12日(日)	留萌市中央公民館	112

#### (i) 受賞者一覧

賞区分	受賞者	所在地	部門	作品名
優秀賞	木村い子	江別市	刺繍	ルウンペ/色裂置文衣
	西山 涼	平取町	木工	イタ/盆
	平村 太幹	平取町	木工	イタ/お盆
入選	荒木 礼美	神奈川県	刺繍	イカシワッカのチウカウカプ(複製)
	藤井 光	七飯町	刺繍	木綿衣
	山本みい子	幕別町	一般	テーブルセンター
奨励賞	相澤 道子	帯広市	一般	チヂリのテーブルマット
	石川 潔	札幌市	一般	神様からの贈り物(姫シシャモ)
	岡本 朋也	平取町	木工	メノコマキリ/女性用小刀
	成田 胡童	旭川市	一般	キムンカムイの詩/山の神の詩
	二色 美重	標茶町	刺繍	マタンブシ/鉢巻
	二谷 文子	平取町	刺繍	アッドシ
	長谷川順子	苫小牧市	一般	タペストリー
	廣川 昌嘉	音更町	木工	イタ/盆
	宮崎知保子	札幌市	刺繍	ホシとテクンペのセット/脚絆と手甲のセット
山下 一美	札幌市	刺繍	切抜き布を付けた着物 白布切抜き置文木綿衣	

## ② アイヌ文化賞

永年にわたってアイヌ文化の向上、発展に努め、特に功績のあった人たちに、アイヌ文化賞、アイヌ文化奨励賞を贈呈して、その功績を顕彰するとともに、アイヌ文化の継承・振興にかかわる諸活動を奨励・促進した。

#### (7) 被表彰者推薦期間

8月1日(火)～9月29日(金)

#### (イ) アイヌ文化賞等表彰者選考委員一覧

役職名	氏名	摘要
委員長	中村 吉雄	公益社団法人北海道アイヌ協会副理事長
副委員長	磯部恵津子	白糠アイヌ文化保存会会長
委員	小川 悠治	標津アイヌ協会会長
委員	手塚 薫	北海学園大学教授
委員	堀 悦子	アイヌ文化伝承者
委員	本田 優子	札幌大学教授

#### (ウ) 選考委員会

開催日	開催場所	協議事項等
10月24日(火)	北海道中小企業会館	・委員長の互選 ・アイヌ文化賞及びアイヌ文化奨励賞の選考

#### (エ) 贈呈式

開催日	開催場所	備考
1月20日(土)	道新ホール	文化フェスティバルと同時開催

#### (オ) 受賞者一覧

賞区分	受賞者	年齢	所在地	備考
文化賞	宇梶シズエ	90	北海道白老町	
文化奨励賞(個人)	石辺 勝行	78	北海道千歳市	
	尾崎 剛	69	北海道平取町	
	小田 智子	77	北海道千歳市	
	萱野 志朗	65	北海道平取町	
	菅原タイ子	77	北海道白糠町	
	床 みどり	72	北海道釧路市	
	松田 健治	69	北海道釧路市	
文化奨励賞(団体)	—	—	—	該当なし

## IV アイヌの伝統等に関する普及啓発

### 1 普及啓発促進事業

#### ① 広報情報発信

##### (ア) リーフレット等発行

アイヌの歴史や文化を紹介したパンフレットなどの広報資料を発行し、アイヌの歴史や文化について広く一般の人々の理解の促進を図った。

種別	言語種別	作成時期	作成数	主な配布先
総合版「令和5年度アイヌ民族文化財団のあらまし」	日本語版	9月	3,000	図書館、博物館、アイヌ関係団体のほか、主催事業への来場者など
	英語版	9月	1,000	
文化情報版「アイヌ民族～歴史と文化」	日本語版	9月	15,000	
	英語版	9月	5,000	

##### (イ) ホームページ

インターネット上でアイヌ文化などに関する様々な情報を国内外に発信し、その普及啓発を図った。外国人のために英文のページも開設した。

##### (a) アクセス数

162,234件(3月31日現在)

##### (b) 追加掲載

動画掲載『アイヌ文化伝承活動アーカイブス 技Vol.7』

動画及び解説書掲載『アイヌ生活文化再現マニュアル 身を護るもの 平取地方』

幼児向け絵本『イソポのはなし』(令和4年度最優秀賞受賞作品)

② 児童生徒向け副教材の作成・配布

アイヌの歴史や文化についての児童・生徒の理解を深めるため、学校教育の場で使用される副読本を作成し、全国の小中学校へ配布してアイヌの歴史や文化などについての知識の普及啓発を図った。

(7) 副教材作成・配布

種別	作成時期	作成数	配布先
小学生用	9月	68,000	全国の公立小中学校（道内小学校4学年児童および中学校2学年生徒の全員）、都道府県教育委員会、市町村教育委員会、図書館
中学生用		60,000	
教師用指導書		37,000	

(i) 講習会

開催日	開催地	講師	事例発表者	受講者数
8月22日（火）	石川県金沢市	菅原 慶郎	—	60
8月29日（火）	東京都台東区	佐々木博司	宇佐 恵美	20
1月6日（土）	札幌市	佐々木博司	中原 直彦	15
1月27日（土）	中標津町	佐々木博司	中原 直彦	3

(7) 新たな副教材作成検討委員会

検討委員会において新たな副教材のあり方や内容について検討した。

(a) 検討委員一覧

役職名	氏名	摘要
委員長	佐々木利和	北海道大学アイヌ・先住民研究センター招へい教員
副委員長	加藤 忠	アイヌ政策推進会議委員
委員	石田 勝也	札幌市立大学デザイン学部講師
委員	貝澤 守	二風谷民芸組合代表理事
委員	鹿糠 昌弘	美唄市立美唄中学校教頭
委員	北原モコットゥナシ	北海道大学アイヌ・先住民研究センター教授
委員	佐々木史郎	国立アイヌ民族博物館長
委員	千葉 拓士	札幌市立新札幌わかば小学校教諭
委員	中川 裕	千葉大学名誉教授
委員	中村 吉雄	公益社団法人北海道アイヌ協会副理事長
委員	松本あづさ	藤女子大学文学部准教授
委員	山本 命	松浦武四郎記念館長

(b) 協力員一覧

氏名	摘要
田村 将人	国立アイヌ民族博物館資料情報室長
関口 由彦	国立アイヌ民族博物館展示企画室研究主査
深澤 美香	国立アイヌ民族博物館研究交流室研究員

(c) 作業部会

役職名	氏名	摘要
部会長	北原モコットゥナシ	北海道大学アイヌ・先住民研究センター教授
副部会長	谷本 晃久	北海道大学大学院文学研究院教授
構成員	鹿糠 昌弘	美唄市立美唄中学校教頭
構成員	城石 梨奈	釧路市立博物館学芸員
構成員	瀧口 夕美	編集者
構成員	千葉 拓士	札幌市立新札幌わかば小学校教諭

(d) 検討委員会・作業部会

区分	開催日	開催場所	協議事項等
委員会	6月27日（火）	北海道 中小企業会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>冊子作成に係る基本的方針について</li> <li>冊子の概要について</li> <li>作業部会の設置及び構成員案について</li> <li>冊子の印刷配布に係るスケジュール案について</li> </ul>

区分	開催日	開催場所	協議事項等
作業部会	9月6日(水)	財団会議室	・本事業の概要について ・冊子の記載内容等について
作業部会	12月7日(木)	財団会議室	・副教材の記載項目の検討について
作業部会	2月2日(金)	財団会議室	・副教材の記載項目の検討について
作業部会	3月27日(水)	財団会議室	・副教材の記載項目の検討について

### ③ 親と子のための普及啓発

アイヌの伝統などを内容とした幼児向け絵本の原作を募集し、優れた作品を絵本にして北海道内の保育園などに配布することにより、アイヌ文化についての普及啓発を図った。

#### (7) 募集期間

8月1日(火)～10月20日(金)

#### (イ) 応募点数

14点

#### (ウ) 幼児向け絵本(原作) 募集選考委員

役職名	氏名	摘要
委員長	早坂 ユカ	令和2年度実践上級講座口承文芸伝承者(語り部) 育成伝承補助者
副委員長	吉本 裕子	横浜市立大学客員研究員
委員	秋山 里架	文化振興部体験教育課主査
委員	関根 真紀	アイヌ工芸家
委員	高木 真美	釧路短期大学専任講師
委員	田中 徳光	北海道国立幼稚園・子ども園協議会事務局次長

#### (エ) 選考

- ・一次審査(在宅審査)

実施時期	審査対象作品数	摘要
10月25日(水)～11月15日(水)	12作品	審査委員に出品作品(写)を送付し在宅審査を行う。

- ・二次審査(選考委員会)

開催時期	開催場所	協議事項等
12月5日(火)	財団会議室	・委員長互選 ・審査

#### (オ) 受賞作品

種類	氏名	作品名
最優秀賞	小谷野 晃	ニンニンケツポのむこえらび
入選	—	—
奨励賞	河原 清夫	アイヌの人たちのたべものやぐらし
	多羽田 勝	みんな かみさま
	古澤 ナオ	けちんぼおおかみ
	三島亜紀子	ちりましほーイタクラマツ(ことばのたましい)をつなぐひと
	毛内華名子	アイヌ語でかぞえよう

#### (カ) 絵本の刊行

タイトル	作成時期	作成数	主な配布先
ニンニンケツポのむこえらび	3月	4,500	全国の図書館、道内の小学校、幼稚園、保育所など

### ④ セミナー

アイヌの伝統などについての基礎的な知識を有する方や学校教育・社会教育関係者などを対象に、アイヌの歴史や文化をテーマとする高度な内容のセミナーを開催した。

**(7) 札幌会場**

- ・開催期間 8月1日(火)～8月8日(火)
- ・開催会場 北海道立道民活動センターかでの2・7
- ・開催内容

日 時	講 座 名	講 師	受講者数
8月1日(火) 13:30～15:00	ひろがる多様な言語世界ーサハリンの諸言語、特にニヴフ語についてー	白石 英才 札幌学院大学経済経営学部教授	40
8月1日(火) 15:20～16:50	変わり行くもの、抱き続けるもの	結城 幸司 公益社団法人北海道アイヌ協会理事	41
8月2日(水) 13:30～15:00	3つのキーワードで読み解く、〈憂北の志士〉松浦武四郎の生涯	三浦 泰之 北海道博物館歴史研究グループ学芸主幹	53
8月2日(水) 15:20～16:50	笑顔の「アイヌ風俗画」ー林家旧蔵アイヌ風俗画画稿の魅力ー	石川 直章 小樽市総合博物館館長	52
8月3日(木) 13:30～15:00	先住民フェミニストとして生きるー日本のダイバーシティ推進とアイヌを取り巻く問題の解決へ向けてー	石原 真衣 北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授	54
8月3日(木) 15:20～16:50	アイヌとして生きるということ	原田公久枝 アイヌ文化活動アドバイザー	40
8月4日(金) 13:30～15:00	危機言語政策の枠組みとアイヌ語ーアイヌ語アーカイブ事業の現在地ー	鈴木 仁也 文化庁国語課国語調査官	33
8月4日(金) 15:20～16:50	本州・大陸との交流からみた「古代アイヌ史」	蓑島 栄紀 北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授	42
8月7日(月) 18:30～20:00	ESD(持続可能な開発のための教育)としての先住民アイヌについての学校教育をめざして	渡邊 圭 斜里町立知床ウトロ学校教頭	19
8月8日(火) 18:30～20:00	「アイヌ史」の捉え方ーその連なりと広がりー	谷本 晃久 北海道大学文学研究院教授	45

**(4) 東京会場**

- ・開催期間 8月22日(火)～8月30日(水)
- ・開催会場 アイヌ文化交流センター
- ・開催内容

日 時	講 座 名	講 師	受講者数
8月22日(火) 13:30～15:00	3つのキーワードで読み解く、〈憂北の志士〉松浦武四郎の生涯	三浦 泰之 北海道博物館歴史研究グループ学芸主幹	41
8月22日(火) 15:20～16:50	先住民フェミニストとして生きるー日本のダイバーシティ推進とアイヌを取り巻く問題の解決へ向けてー	石原 真衣 北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授	52
8月23日(水) 13:30～15:00	本州・大陸との交流からみた「古代アイヌ史」	蓑島 栄紀 北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授	58

日 時	講 座 名	講 師	受講者数
8月23日 (水) 15:20~16:50	アイヌとして生きるということ	原田公久枝 アイヌ文化活動アドバイザー	62
8月24日 (木) 13:30~15:00	笑顔の「アイヌ風俗画」－林家旧蔵 アイヌ風俗画画稿の魅力－	石川 直章 小樽市総合博物館館長	30
8月24日 (木) 15:20~16:50	ひろがる多様な言語世界－サハリン の諸言語、特にニヴフ語について－	白石 英才 札幌学院大学経済経営学部教授	37
8月25日 (金) 13:30~15:00	危機言語政策の枠組みとアイヌ語－ アイヌ語アーカイブ事業の現在地－	鈴木 仁也 文化庁国語課国語調査官	29
8月25日 (金) 15:20~16:50	変わり行くもの、抱き続けるもの	結城 幸司 公益社団法人北海道アイヌ協会 理事	33
8月29日 (火) 18:30~20:00	「アイヌ史」の捉え方－その連なりと 広がり－	谷本 晃久 北海道大学文学研究院教授	37
8月30日 (水) 18:30~20:00	ESD(持続可能な開発のための教育)と しての先住民族アイヌについての学 校教育をめざして	渡邊 圭 斜里町立知床ウトロ学校教頭	34

## ⑤ 講演会

広く国民一般を対象に、全国各地でその地域の社会的状況を考慮しながら、アイヌの歴史や文化をテーマとした基礎的な内容の講演会を開催し、その知識の普及啓発を図った。

開催日・開催地	演 題	講 師	来場者数
5月20日 (土) 島根県松江市	北海道と島根県－アイヌ文化 を中心に	佐々木利和 北海道大学アイヌ・先住民研究センター 招へい教員	442
1月13日 (土) 沖縄県那覇市	アイヌの伝統音楽について	甲地 利恵 北海道博物館アイヌ民族文化研究センター アイヌ文化研究グループ研究職員	805
1月20日 (土) 北海道札幌市	世界のなかでのアイヌのピー ズ	池谷 和信 国立民族学博物館人類文明誌研究部教授	407

## ⑥ イランカラプテキャンペーン

アイヌ語の挨拶の言葉である「イランカラプテ」をアイヌ文化の情報発信や理解促進のキーワードとして、アイヌ文化等への親近感や共感を高めるための取り組みを実施した。

### (ア) キャンペーンの展開

アイヌの歴史や文化に関する情報、アイヌ文化関連資料等を組み合わせた展示パッケージを制作し、PR効果が高い三大都市圏において巡回展を開催し、アイヌ文化等の普及啓発を図った。

開催期間	開催場所	来場者数	内 容
2月17日 (土) ~ 18日 (日)	名古屋みなと 蔦屋書店 (愛知県)	1,094	・工芸品展示 ・楽器演奏 ・民族衣装試着体験 など
2月24日 (土) ~ 25日 (日)	代官山T-SITE GARDEN GALLERY (東京都)	646	
3月 2日 (土) ~ 3日 (日)	梅田 蔦屋書店 (大阪府)	1,043	

(イ) 空港展示（常設）

空港名	一般公開開始日	直近の展示替え	現在の展示品
釧路空港	平成25年12月20日（金）	11月 3日（金）	計 7点 木綿衣、テクンペ（手甲）など
函館空港	平成26年 8月27日（水）	10月27日（金）	計11点 木綿衣、イタ（盆）など
帯広空港	平成28年 3月24日（木）	9月20日（水）	計 4点 木綿衣、オッチケ（膳）など
旭川空港	平成30年12月 1日（土）	7月20日（木）	計 1点 木綿衣

(ウ) 啓発パンフレットの作成・配布

タイトル	作成時期	作成数	主な配布先
ふれてみようアイヌ文化	10月	40,000	アイヌ関係団体、美術館、博物館、観光協会、道の駅など

(エ) 札幌駅におけるアイヌ文化情報発信

JR札幌駅西コンコース北口にある「北海道さっぽろ（食と観光）情報館」内にアイヌ文化情報発信コーナーを設置した。ディスプレイを用いた道内アイヌ関連施設情報の常時上映、アイヌ工芸作品の常設展示、アイヌ関連イベントなどの情報発信を実施した。

施設名	一般公開開始日	直近の展示替え	展示品
札幌駅	令和3年3月1日（月）	1月24日（水）	計 4点 アットウシ（樹皮衣）など

(オ) オンライン配信

アイヌ文化普及啓発セミナーの収録映像を活用し、キャンペーンの一環としてインターネット配信を実施した。

- ・配信期間 11月 6日（月）～ 11月21日（火）
- ・配信内容

講座名	講師	受講者数
ひろがる多様な言語世界ーサハリンの諸言語、特にニヴフ語についてー	白石 英才 札幌学院大学経済経営学部教授	53
変わり行くもの、抱き続けるもの	結城 幸司 公益社団法人北海道アイヌ協会理事	44
3つのキーワードで読み解く、〈憂北の志士〉松浦武四郎の生涯	三浦 泰之 北海道博物館歴史研究グループ学芸主幹	51
笑顔の「アイヌ風俗画」ー林家旧蔵アイヌ風俗画画稿の魅力ー	石川 直章 小樽市総合博物館館長	71
アイヌとして生きるということ	原田公久枝 アイヌ文化活動アドバイザー	61
危機言語政策の枠組みとアイヌ語ーアイヌ語アーカイブ事業の現在地ー	鈴木 仁也 文化庁国語課国語調査官	43
本州・大陸との交流からみた「古代アイヌ史」	蓑島 栄紀 北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授	60
ESD（持続可能な開発のための教育）としての先住民族アイヌについての学校教育をめざして	渡邊 圭 斜里町立知床ウトロ学校教頭	32

2 アイヌ文化交流センター事業

首都圏に居住するアイヌの人々の交流活動やアイヌ文化の伝承活動などを支援するとともに、アイヌと一般の人々との交流の場やアイヌ文化などに関する情報収集・発信の場として、多角的な機能をもつアイヌ文化交流センターを運営した。

- ① 常設展示の実施
- ② アイヌ関係図書や映像資料の閲覧

種別	購入数	寄贈数	総数	備考
図書	123	34	6,018	
映像	0	3	529	DVD 441本含む

### ③ イランカラフテ・アイヌ文化体験講座

開催日	講座種別	講師	受講者数
6月1日(木)	刺繍	島田あけみ	10
6月2日(金)	刺繍	島田あけみ	7
9月21日(木)	刺繍	宇佐 照代	19
9月28日(木)	刺繍	宇佐 照代	18
10月13日(金)	舞踊	宇佐 恵美 有里明日香	8
10月27日(金)	舞踊	宇佐 恵美 有里明日香	12
1月23日(火)	木彫	平田 篤史	11
1月24日(水)	木彫	平田 篤史	10
2月3日(土)	音楽	千葉 伸彦	13
2月24日(土)	音楽	千葉 伸彦	13
3月9日(土)	伝統料理	丸子美記子	14
3月9日(土)	チセノミ	廣野 洋	30

### ④ 交流センター利用者

利用者数 4,740名 (アイヌ関係者983名、一般3,757名)

電話照会 1,049件

## V アイヌ文化の伝承者育成

### 1 アイヌ文化の伝承者育成事業

#### 伝承者育成事業

アイヌ文化におけるさまざまな技術や言語等を総合的又は分野別に身につけそれらを伝承する者の育成を図った。

#### ① 昼間型

アイヌ文化に関する知識や技術・技能を身につけ、実施地域のニーズを踏まえて策定した伝承者育成プログラムにより、地域のアイヌ文化を根底から支える人材(伝承者)の育成を図った。

区分	事業内容等	開催期間
6期生 1年目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者 4名</li> <li>・受講日数 228日</li> <li>・講義及び実習</li> <li>・専門コースの実施</li> </ul>	4月10日(月)～3月31日(日)

#### ② 夜間型

アイヌ文化に関する知識や技術・技能を身につけ、特定分野に関する高度な知識・技術・技能の修得を行い、地域のアイヌ文化を根底から支える人材(伝承者)の育成を図った。

区分	事業内容等	開催期間
アットウシ (着物)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者 4名</li> <li>・受講日数 48日</li> <li>・講義及び実習</li> </ul>	4月26日(水)～2月14日(水)
アットウシ (反物)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者 4名</li> <li>・受講日数 48日</li> <li>・講義及び実習</li> </ul>	5月17日(水)～3月13日(水)
イタ (盆)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者 4名</li> <li>・受講日数 24日</li> <li>・講義及び実習</li> </ul>	8月29日(火)～2月14日(水)

## VI 民族共生象徴空間運営事業

### 1 民族共生象徴空間運営管理事業等

#### ① 国立民族共生公園等管理業務

##### (7) 目的

国立民族共生公園は、アイヌの歴史、文化等に関する展示及び調査研究並びにアイヌ文化の伝承、そのための人材育成、体験交流、情報発信及び豊かな自然を活用した憩いの場の提供、その他の取組を通じてアイヌ文化の復興に関する我が国における中核的な役割を担うことを目的としている。

- ・入場者数 令和5年度 333,097 人  
(令和4年度 369,038 人)

##### (4) 事業内容

###### (a) 体験交流プログラムの提供及び伝統芸能の上演

###### <プログラムの運営企画・実施>

体験プログラムについては、前年度の実績及び来場者アンケート等を踏まえ、各プログラムの見直しなどを実施した。

- ・体験交流ホールのほか、チキサニ広場及びコタン前広場で伝統的な舞踊、歌、楽器演奏等を上演した。
- ・東京で初めての特別公演「ウポポイ渋谷公演カムイとアイヌの物語『イノミ』」を実施した。
- ・体験学習館でムックリ演奏及び製作体験、アイヌ料理美食及び調理体験、キッズプログラム、アイヌ語プログラム等を実施した。
- ・伝統的コタンで口承文芸実演、丸木舟操作実演・解説等を実施した。
- ・工房でアイヌ文様刺繍体験、アイヌ文様木彫体験等を実施した。
- ・ファミリー層や道外からの誘客の見込まれるゴールデンウィーク、夏休み、シルバーウィーク、冬休みの時期にイベントウィークとして園内での特別プログラムを実施した。
- ・開業3周年記念行事として、関係者を招待し記念式典を開催したほか、踊りと食をテーマとした記念イベントを実施した。
- ・「教育・文化週間」の趣旨を踏まえ、文化の日である11月3日をアイヌ文化により多くの方に学んでもらうための無料開放日とし、あわせて園内において各地域の工芸家等とともにアイヌアートショーを実施した。

###### <伝統工芸家等の招へいによる技術の実演>

アイヌ文化の伝承活動と理解促進のため、各地域の伝統技術伝承者を招へいし、工房において製作技術の実演公開を行った。

###### <保存会による古式舞踊披露及びモニター事業の実施>

アイヌの伝統及びアイヌ文化の理解促進を図るため、各地でアイヌ古式舞踊を伝承している保存会を招へいし、体験交流ホールのほか、チキサニ広場で舞踊等を披露及び発信した。また、今後のウポポイの効果的な運営の基礎資料とするため、アイヌ文化伝承活動を実践する団体を招へいし、モニターとして意見を聴取した。

###### <夜間プログラムの運営>

- ・体験交流ホールの外壁等を活用したプロジェクションマッピング及びLEDオブジェショーを実施した。
- ・夏の夜間特別プログラムとして、屋外ステージで歌や踊りを披露する「ポロトコタンの夜」を実施した。

###### <体験交流ホールの運営>

体験交流ホールにおける映像・音響及び照明機材について、演目の演出に応じた操作を行った。また、機材のメンテナンスを適時に実施した。

###### <休憩スペース等設置>

来場者が園内において快適に滞在できるよう、テント、休憩所、仮設トイレ等を設置した。

**(b) 来場者に対する園内サービスの提供**

- ・ エントランス棟にキッズコーナーを設け、小さな子ども連れのファミリー層が休憩できる場所を設けた。
- ・ ウポポイ来園者の園内移動の利便性向上のため、園内を循環するバスを9月から導入した。

**(c) 広報活動及び誘客促進**

アイヌ文化の普及啓発、国民理解の促進のため、年間来場者100万人を目指し、一層の認知度向上及び誘客促進を目的とした広報、誘客活動等を実施した。

- ・ ウポポイホームページについて、内容の充実及びユーザビリティの向上を図るとともに季節に応じた適時の更新を実施した。また、FacebookなどのSNSを活用し、ウポポイの見どころやイベント等を適時に発信した。
- ・ 新聞、雑誌等の出版物におけるウポポイ紹介記事及びラジオ局が企画する番組への出演協力等を通じ、ウポポイの認知度向上及びPRに努めた。
- ・ 一般応募による「ウポポイフォトコンテスト」を実施した。
- ・ 引き続き旅行会社との観光クーポン契約を行った。
- ・ 教育旅行催行の旅行事業者等に対し、見学可能な施設等をウポポイ側から提案、調整するなど、学校等教育機関の積極的受け入れ及び満足度向上に努めた。
- ・ 旅行事業者に対しファムツアーを実施し、一般及び教育旅行の商品造成への意欲の向上に努めた。また、海外インフルエンサー、メディアのファムトリップを実施し、インバウンド誘客のためのweb記事、動画、SNS投稿を行った。
- ・ 冬期の誘客対策として、旅行事業者に対する旅行商品造成のための募集を行った。

**(d) 来場者の安全と安心の確保**

開業前に、防火・防災等危機管理計画及び防災消防訓練の説明会、地震・津波を想定した防災訓練及び白老消防署の指導による救命講習を実施した。

**(e) 施設維持管理及び慰霊施設の管理**

良好な状態で施設を維持管理していくため、国立民族共生公園、慰霊施設及び管理運営施設の建物・設備管理業務、警備・巡視業務、清掃業務、廃棄物処理業務、除雪業務、利用・案内業務及び植物管理業務を委託した。

**② 国立アイヌ民族博物館管理業務**

国立アイヌ民族博物館は先住民族であるアイヌの尊厳を尊重し、国内外にアイヌの歴史・文化等に関する正しい認識と理解を促進するとともに、新たなアイヌ文化の創造及び発展につなげる。展示の企画、調査・研究業務の企画資料調査、教育普及など、博物館の管理運営に必要な以下の業務を文化庁から受託し実施した。

**(7) 展示企画**

**(a) 基本展示室での常設展示の実施。定期的な資料入替や解説文・キャプションの見直し、多言語対応など展示内容の改善充実**

- ・ 基本展示室の展示資料について、劣化が懸念される染色資料、紙資料を中心に年度内に6回、327点の展示替えを行うとともに、必要なキャプション等の作成と多言語化(英・中・韓)を行った。
- ・ アイヌ文化等に接した経験がないインバウンドなどの来館者層にも理解が深まるよう、新たにパノラミックロビーに多言語(日・英・中・韓)による解説パネルを設置した。
- ・ 第5回テーマ展示開催を契機に基本展示室内の照明演出の見直しを実施した。

**(b) 特別展及びテーマ展の実施**

- ・ 下記の特別展示及びテーマ展示を開催した(多言語対応済(英・中・韓))。

種 別	第4回テーマ展示
主 題	地域からみたアイヌ文化展 アカント ウン コタンー阿寒湖畔のアイヌ文化ー
主 催	国立アイヌ民族博物館
後 援	公益社団法人北海道アイヌ協会

会 場	国立アイヌ民族博物館 特別展示室
期 間	令和5年3月14日(火)～令和5年5月14日(日) 62日間
観覧料金	無料(ウポポイ入園料のみ)
入場者数	40,732名
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成：阿寒湖畔のアイヌ文化やそれに携わる人たちの歴史、下記の6つの展示テーマに沿って資料を展示した。 (1)歴史 (2)工芸 (3)芸能 (4)共に歩む人たち (5)ことば (6)観光</li> <li>・展示資料：当館所蔵資料含む約135点</li> <li>・関連事業：外部講師による講演会、当館研究員及び学芸員によるギャラリートークなど計6回</li> </ul>

種 別	第6回特別展示
主 題	“アウタリオピッタ” アイヌ文学の近代 -バチラー八重子、遼星北斗、森竹竹市-
主 催	国立アイヌ民族博物館
後 援	公益社団法人北海道アイヌ協会
会 場	国立アイヌ民族博物館 特別展示室
期 間	令和5年6月24日(土)～令和5年8月20日(日) 58日間
入場者数	7,669名
観覧料金	大人300円 高校生200円 中学生以下無料(ウポポイ入園料は別途)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成：知里幸恵の『アイヌ神謡集』(1923年刊)が発行された当時のアイヌ民族を取り巻く社会状況を、当時のアイヌ民族による歌や詩などから明らかにする展示を行った。展示は、以下の6つのテーマで構成した。 プロローグ 1.バチラー八重子 2.遼星北斗 3.森竹竹市 コラム：掛川源一郎 エピローグ</li> <li>・出品協力(画像提供含む)：旭川市博物館、遼星北斗研究会、沖縄県立博物館・美術館、帯広市図書館、掛川源一郎写真委員会、釧路市中央図書館、市立小樽図書館、市立小樽文学館、仙台藩白老元陣屋資料館、知里幸恵銀のしずく記念館、那覇市歴史博物館、日本聖公会北海道教区、北海道大学植物園・博物館、北海道大学附属図書館、北海道伊達市教育委員会、北海道博物館、北海道立図書館、北海道立文学館、盛岡市先人記念館、森竹竹市研究会、よいち水産博物館、余市町立大川小学校、立教小学校、立教大学図書館及び当館収蔵資料</li> <li>・展示資料：約200点</li> <li>・関連事業：外部講師による講演会、当館研究員及び学芸員によるギャラリートークなど計8回</li> </ul>

種 別	第7回特別展示
主 題	「考古学と歴史学からみるアイヌ史展-19世紀までの軌跡-」
主 催	国立アイヌ民族博物館
後 援	公益社団法人北海道アイヌ協会
会 場	国立アイヌ民族博物館 特別展示室
期 間	令和5年9月16日(土)～令和5年11月19日(日) 65日間
入場者数	10,209名
観覧料金	大人300円 高校生200円 中学生以下無料(ウポポイ入園料は別途)

事業内容	<p>構成：周辺文化との接触を重ねながらその特色を際立たせてきたアイヌ文化は、時代とともに変化を繰り返してきた。その歴史を、考古学と歴史学の研究成果を踏まえて紹介した。展示は、プロローグとエピローグを含め8つのテーマで構成した。</p> <p>プロローグ アイヌ史についてのQ&amp;A</p> <p>1章 東と西の伝統、北と南からの交流</p> <p>2章 地域を超える交流—イコロの系譜—</p> <p>3章 アイヌ文化にみられる「13世紀」の画期とはなにか</p> <p>4章 チャシの構築</p> <p>5章 アイヌ社会に引かれる境界</p> <p>6章 生活の中ではぐくまれたアイヌ文化—今に息づく文化の系譜—</p> <p>エピローグ 現代につづくアイヌ民族の歴史へ</p> <p>出品協力：秋田市教育委員会、旭川市博物館、芦別市教育委員会、厚真町教育委員会、石狩市教育委員会、岩手県立博物館、恵庭市教育委員会、江別市教育委員会、小樽市総合博物館、上ノ国町教育委員会、北九州市立自然史・歴史博物館、九州国立博物館、釧路市教育委員会、釧路町教育委員会、斜里町教育委員会、證道寺、千歳市教育委員会、東京国立博物館、東京大学史料編纂所、南部町教育委員会、根室市教育委員会、函館市教育委員会、八戸市博物館、弘前市教育委員会、深川市教育委員会、北斗市教育委員会、北海道大学附属図書館、北海道伊達市教育委員会、北海道博物館、北海道埋蔵文化財センター、北海道立図書館、北海道立文書館、宮古市教育委員会、余市町教育委員会、及び当館収蔵資料</p> <p>展示点数：約160点</p> <p>関連事業：外部講師による講演会、当館研究員及び学芸員によるギャラリートークなど計8回</p>
------	--

種別	第5回テーマ展示
主題	A Night at the National Ainu Museum -ウポポイ ナイト ミュージアム “Ainu Words, Broadened Horizons” -
後援	公益社団法人北海道アイヌ協会
会場	国立アイヌ民族博物館 特別展示室
期間	令和5年12月23日(土)～令和6年2月18日(日) 58日間
入場者数	21,779名(ウポポイ入場者数)
観覧料金	無料(ウポポイ入園料のみ)
事業内容	<p>構成：絵本『おばけのマ〜ルとすてきなことば』の原画(またはイラストパネル)を展示するとともに、絵本に書かれたアイヌ語を実際に耳で聞くことができる音声や映像コンテンツを展示した。以下の内容で構成した。</p> <p>①「おばけのマ〜ル」と夜の世界</p> <p>②絵本『おばけのマ〜ルとすてきなことば』について</p> <p>③映像コンテンツ</p> <p>④体験型・参加型コーナー</p> <p>⑤絵本閲覧コーナー</p> <p>出品協力：中西出版株式会社、及び当館収蔵資料</p> <p>展示点数：約60点</p> <p>特別協力：株式会社エイチ・アイ・エス、NAKID, INC.、中西出版株式会社</p>

種別	第6回テーマ展示
主題	「ミナ ミナ『おばけのマ〜ルとすてきなことば』展」
後援	公益社団法人北海道アイヌ協会
会場	国立アイヌ民族博物館 特別展示室

期 間	令和6年3月16日(土)から令和6年5月12日(日) 58日間
入場者数	43,309名(ウポポイ入場者数)
観覧料金	無料(ウポポイ入園料のみ)
事業内容	<p>構 成：絵本『おばけのマ〜ルとすてきなことば』の原画(またはイラストパネル)を展示するとともに、絵本に書かれたアイヌ語を実際に耳で聞くことができる音声や映像コンテンツを展示した。以下の内容で構成した。</p> <p>①絵本「おばけのマ〜ル」シリーズについて  ②絵本『おばけのマ〜ルとすてきなことば』について  ③絵本閲覧コーナー  ④体験型・参加型コーナー</p> <p>出品協力：中西出版株式会社、札幌市交通事業振興公社、札幌芸術の森美術館、札幌市時計台、北海道立三岸好太郎美術館及び当館収蔵資料</p> <p>展示点数：約100点  関連事業：当館研究員・学芸員によるワークショップなど計2回</p>

・次年度開催する特別展及びテーマ展について、下記のとおり計画した。

○第8回特別展示「生誕90年記念 藤戸竹喜の世界」

令和6年 6月29日(土)～令和6年 8月25日(日) 58日間

○第9回特別展示 「驚異と怪異 ー想像界の生きものたちー」

令和6年 9月14日(土)～令和6年11月17日(日) 65日間

○第7回テーマ展示「インバウンドを含む誘客に向けて観光再始動事業と連動した展示」

令和6年12月14日(土)～令和7年 2月16日(日) 65日間

**(c) 新たな生活様式に対応した「バーチャル博物館」の配信及びバーチャル博物館を活用した新たな展示・情報発信等に関する企画立案**

・これまでに作成したコンテンツの修正、更新及び維持管理を行った。

・新たに特別展示、テーマ展示を記録撮影しアーカイブ化するとともに、一部の情報を当館ホームページにて公開した。

**(d) 音声ガイド機の維持・管理および内容の更新、携帯アプリの配信及び内容の更新**

・コロナ等の対策により運用を停止していた、音声ガイド機の貸出を令和5年5月から開始した。

**(e) 博物館/ウポポイにおけるアイヌ語による表示・解説等の策定**

・「国立アイヌ民族博物館におけるアイヌ語表示・展示解説検討委員会」を開催(委員会1回、新語検討ワーキング会議1回、解説文執筆者・校閲者会議16回)し、有識者やアイヌ語学習者の協力を得ながらアイヌ語による解説文の作成を行った。

**(f) 調査研究・交流**

**(a) 調査研究事業の企画・立案**

・アイヌの歴史と文化及び博物館機能強化に関する調査研究事業(基幹研究8件、個別研究5件、成果発表支援10件、共同研究3件)及び悉皆調査を実施した。

**(b) 「アイヌ文化でつながる博物館等ネットワーク(愛称ブンカラ)」の運営等**

・会員機関限定 Web サイトの開設、会報「ブンカラ通信」創刊号(9月)、2号(3月)の発行、会員機関の所属職員を対象としたアイヌの歴史・文化や資料の取扱等に関する研修会の開催(11月、96名参加)等を行った。

・ブンカラ共同研究について、実施要項等の作成等募集準備を行った。

・ブンカラ協働展示「アイヌの建築と工芸の世界ーチセ、マキリ、アットゥシー」を開催した(会場：国立近現代建築資料館(東京都湯島)、会期：3月1日～24日、来館者数：5,790人)。

・会員機関は6機関増え68機関となった。

**(c) 協定締結機関等との連携事業(シンポジウム、共同調査・研究等)の企画等**

・北海道大学アイヌ・先住民研究センターとの共同シンポジウム(8月29日)を開催した。

・札幌大学に連携協定に基づき「アイヌ文化スペシャリスト養成プログラム asir(アシリ)」への講

師派遣を行った。

- ・東京国立博物館との間に同館所蔵のアイヌ関連資料の調査研究に関する覚書に基づく資料調査を実施した。

**(d) 国内外の博物館、大学、研究機関等との連携強化等**

- ・室蘭工業大学と包括連携協定を締結した（令和5年10月26日）。

**(e) レファレンス業務**

- ・利用者からの問合せ（以下、レファレンス）約150件分に対応した。

**(f) 科学研究費補助金の獲得に向けた体制構築の実施等**

- ・当財団における公的研究費の管理・監査および研究活動における不正行為への対応等に関する規程・要領について周知し、日本学術振興会による研究eラーニングコースを受講した。
- ・文部科学大臣より科学研究費補助金取扱規程第2条に規定する研究機関として指定（3月）。
- ・文部科学大臣より博物館に相当する施設として指定（令和6年1月31日付）。

**(g) 資料の収集・保管**

**(a) アイヌ関係資料の収集（購入、寄贈、寄託等）**

- ・アイヌ資料については166件/184点、図書文献資料については購入360冊、寄贈883冊を受け入れた。

**(b) 収蔵資料等の整備（クリーニング、燻蒸等）及び適切な保管、整理と管理システム登録等**

- ・列品、寄託品のクリーニング作業(5,476点) や買取資料、図書等について薬剤燻蒸等生物処理を実施した。
- ・旧（一財）アイヌ民族博物館の資料と平成27年度から前年度までの文化庁購入資料についてシステムへの登録作業を行うとともに、一部データの外部公開を行った。

資料登録件数(R6. 3. 31現在)	12,347件
資料更新件数	8,493件
画像登録件数	9,597件
音声登録件数	14件

**(c) 中期的な列品等の修理計画の作成、修理の実施**

- ・劣化が進み修理の緊急性の高い民具資料(1点)の本格修理を行うため、外部有識者も参加する列品等修理請負候補者選定委員会において、修理計画等の審査及び業者選定を行った。

**(d) 収蔵資料等の貸出、特別観覧及び資料等の画像利用への対応**

- ・下記のとおり収蔵資料等の貸出、特別観覧及び画像利用への対応を行った。

収蔵資料等の貸出(外部)	4件	23点
収蔵資料等の特別観覧の許可(外部)	23件	205点
資料等の画像利用の許可件数(外部)	23件	28点
内部での特別観覧件数	30件	301点
内部での画像利用件数	13件	17点

**(e) 科学分析機器等の適切な運用、保守管理**

- ・当館設置の科学分析機器等を使用して列品や借用資料等に関する調査研究、展示、保存等に必要分析等を行った。第7回特別展に伴う借用資料の材質調査(蛍光X線)・構造調査(CT)、模型製作(3Dプリンタ)など113件を実施した。
- ・定期メンテナンスの実施等、常に当該装置の性能が発揮できるよう保守管理を行った。

**(f) 文化財資料の収蔵環境整備（IPM、燻蒸含む）に関する計画の作成、環境整備の実施**

- ・収蔵庫内及び展示室/展示ケース内の空気汚染物質の測定や温湿度制御の実施、害虫トラップの設置による虫菌害の監視など、収蔵環境整備を適切に実施するとともに、当館収蔵庫内のIPMメンテナンスを実施した。
- ・館内各所でカビの発生が見られたため、是正対応として殺菌処置を実施した。

**(g) アイヌ語アーカイブ事業（音声資料のアーカイブ作成、アイヌ語辞典のweb公開等）の実施**

- ・音声資料について、①平取町資料（萱野茂1969年採録、中川裕監修）24件、24時間分、②葛野辰次

郎氏の祈り言葉9件、4時間分、③川上まつ子氏の音声資料176件、111時間分を追加公開した。併せてメンテナンスが必要となった一部データを非公開とした。

- ・3名の音声資料計47時間分の聞き起こしと校閲及びアイヌ語アーカイブ掲載用データを作成した（公開についてはご遺族と調整中）。
- ・4種のアイヌ語辞典（①田村すず子『アイヌ語沙流方言辞典』（1996年）、②萱野茂著『萱野茂のアイヌ語辞典』（1996年）※著者による発音音声つき、③知里真志保『分類アイヌ語辞典 植物編・動物編』（1953年）、④知里真志保『分類アイヌ語辞典 人間編』（1954年））を博物館 web で公開した。

## (I) 教育普及

### (a) 博物館における社会教育事業（講演会、講座、研修、ギャラリートーク、ワークショップ等）及び 博学連携の教育事業（出前授業・遠隔授業等）の企画・立案及び実施

- ・下記のとおり社会教育事業等を実施した。

実施事業	回数・参加者数等	備考
社会人研修等	22団体 805名	社会人、教育委員会等
ギャラリートーク	5, 286組 12, 341名	「かわりにテンパテンパ」 「touch itak」 「探究展示試験運用」
無料開放日（11/3）	6, 691名	「探究展示テンパテンパ」
ホリデーイベント	40回 3, 024人	工作型、講演型、ガイド型等
遠隔授業の実施	中学校2校（合同）	幌延町立幌延中学校・間寒別中学校
その他出張イベント	1件	子ども霞が関見学デー（8/2・3）

- ・基本展示室内用の小学生向けワークシートの運用を開始した（年間利用数：約14,400部）。また、ワークシートを学校が修学旅行等の事前学習に使えるよう、ホームページからダウンロードできるようにした。
- ・基本展示室に展示している鳥たちについて学べる親子連れ向けの新しいワークシートを開発し、令和6年3月21日より運用を開始した（利用数(10日間)：約800部）。
- ・公園での体験と博物館展示室での学びを繋げる解説内容のワークシートを公園職員と連携協力して作成した。
- ・近隣の学校（①白老中学校（令和5年9月5・6日、2名）、②北海道登別青嶺高等学校（令和5年11月8・9日、1名）の依頼に応じて生徒の職場体験学習を実施した。
- ・白老小学校5年生の総合的な学習（「アイヌ文化」をテーマとした調べ学習）に対応した。

### (b) 北海道アイヌ協会との協定に基づく技術研修者の受入及び技術研修の実施

- ・「アイヌ工芸者技術研修会」について、協定に基づく技術研修者2名（白老町、阿寒郡鶴居村各1名）を受入れ、木彫と刺繍に分かれて各6回の研修を実施した。
- ・「展示資料（アイヌ衣服）複製事業」を当館主催の研修事業として2カ年計画で開始し、2名の研修参加者（音更町1名、中標津町1名）に対して12回（計24日）の研修を実施した。なお、工房職員1名が複製技術習得等のため令和6年1月から本事業に参加した。

### (c) 学芸員を目指す学生に対する博物館実習の受入に向けた、実習実施計画の検討・作成

- ・博物館実習の受入に向け、他の博物館での実施状況と実施内容の調査を行った。

### (d) 教育旅行等向け教育プログラムの企画・立案、実施及びプログラムの改善

- ・学校団体向けプログラム「はじめてのアイヌ博」を来館した小・中・高等学校等延べ123校129件、引率含め9,303名に対して実施した。
- ・「冬季探究型教育旅行プログラムモニターツアー」について、ワークブックの作成及びアイヌ文化の説明、基本展示見学等に対応した。

### (e) 学校の授業で使うアイヌの歴史と文化に関する学習教材の開発

- ・小・中・高の社会科授業においてアイヌの歴史や文化への理解がより深まるよう動画教材を開発

し、令和5年4月から授業指導案や学校での活用指導事例と共に専用 Web サイトから配信を開始するとともに、各都道府県教育委員会等に学校での活用を促す通知を发出した。

**(f) 教員や公務員を対象としたアイヌの歴史・文化に関する研修の企画及び協力**

- ・教員向け研修会として「教員のための博物館の日 at 国立アイヌ民族博物館」を会場とオンラインで7月31日に開催した(参加人数：会場参加43名、オンライン参加16名)。

**(g) 博物館全体の運営**

**(a) 博物館運営に必要な物品、役務等の調達**

- ・展示備品(文書複製)や特別展の造作等、博物館運営に必要な物品や役務の調達を行った。

**(b) ライブラリの運営(図書選書、配架、閲覧、複写等)**

- ・特別展示・テーマ展示の会期に合わせた展覧会特設コーナーの設置やライブラリ小展示の実施、図書館間相互利用(ILL)文献複写等料金相殺サービスへの加入等の機能向上を図り、13,426名が利用した。
- ・大学図書館ソリューション(iLiswave-J)への図書登録作業を行い、今年度で約4,250冊の登録を完了し、総蔵書数が約32,250冊となった。

**(c) 博物館活動状況や成果等の社会発信のため、ガイドブックや研究紀要等刊行物の編集/発行と、広報活動の企画立案、広報媒体の作成及び展開**

- ・研究成果の社会発信を下記のとおり行った。

内容	件数	備考
論文	20件	査読有10、査読無10
学会発表	31件	国外14、国内17
図書	12件	
寄稿、解説等	57件	
講演会、講義	60件	
各種委員	16件	
外部資金獲得	18件	
表彰・受賞	2件	

- ・当館展示内容等も含むウポポイ全体のガイドブック『ウポポイまるごとガイド』(北海道新聞社)を10月(英語版は3月)に出版した。
- ・国立アイヌ民族博物館ニュースレター「アヌアヌ」(年4回)、研究紀要(第1号)、年報(2021(令和3)年度)を発行し、関係機関等への送付とオンライン公開を実施した。研究紀要第1号を J-STAGE へ公開した。また第2号(オンライン版)を発行した。
- ・ウポポイ誘客促進事業を通じて博物館の情報発信・広報活動を行うとともに、新聞コラムでの関連記事掲載や、TV等マスコミ等の取材協力等を通じた広報活動を展開した。
- ・特別展、テーマ展開催に際し広報計画を作成し、プレスリリースやマスコミ向け内覧会の実施、ポスター・チラシ等の配布、新聞広告、ホームページ上で広報等を行った。

**(d) 館内 LAN 等情報機器の運用及び保守管理**

- ・セキュリティ対策等の環境整備及び保守管理を行うとともに、情報セキュリティ委員会を開催し、各職員による情報漏えい対策を行った。

**(e) 博物館施設の維持管理(施設設備管理、警備、清掃、廃棄物処理等)の実施**

- ・博物館施設を良好な状態で維持管理するため、建物設備等の点検、24時間常駐による警備、館内各所の清掃、廃棄物処理等を適切に実施した。

**(f) 来館者対応業務(受付・案内、音声ガイド貸出・回収、監視、混雑時の誘導等)の実施**

- ・博物館内各所(入口、受付カウンター、シアター、基本展示室・特別展示室、ライブラリなど)に必要な要員を配置し、来館者への接客対応や案内等を行った。
- ・博物館サイネージの多言語化(英・中・韓)を実施した。
- ・来館者案内をサポートするため、点字付きの触知案内板を3台設置した。

**(g) ウポポイにおけるアイヌ語体験プログラムの実施**

- ・2つのアイヌ語体験プログラム(「アイヌ イタカリ アイェ ロ!」、「ピリカ! ビンゴ アキ ロ!」)の実施及び口承文芸実演プログラムをポロチセで実施した。

**2 民族共生象徴空間収益事業**

**① テナント管理事業**

**(7) 目的**

来場者に対して、飲食・物販の基本的サービスに加えて、アイヌの伝統的料理や伝統工芸品などを販売するために、テナント管理を実施した。

**(i) 事業内容**

テナントの管理

- ・飲食4店舗及び物販2店舗に関し、売上管理、テナント指導(衛生管理、商品管理、利用者サービス)等を実施した。

**② 駐車場事業**

**(7) 目的**

車で来場する方のために、園内第1駐車場、園外第2駐車場及び慰霊施設駐車場の維持管理を実施した。

**(i) 事業内容**

**(a) 駐車場の維持管理**

自動ゲート等の設備の維持管理を行うとともに、必要な警備員を配置し、来場車両の誘導整理を実施した。

**(b) 駐車場料金の徴収**

自動ゲート及び園内事前精算機により、駐車場利用者からの料金徴収を実施した。なお、慰霊施設駐車場については、国等の意見を踏まえ、尊厳のある慰霊の実現という本来目的及び来場者の利便性を勘案し、令和3年12月より無料とした。

**③ その他事業**

**(7) 目的**

コインロッカーや自動販売機を設置し、来場者にサービスを提供した。また、ケータリングカー等を配置し、飲食を提供した。

**(i) 事業内容**

**(a) コインロッカーの設置**

エントランス棟にコインロッカーを設置し、来場者の利用に供した。また、エントランス棟総合案内において手荷物預かりサービスを実施した。

**(b) 自動販売機の設置**

園内6箇所に自動販売機を設置し、来場者の利用に供した。

**(c) 収蔵品等の画像使用**

規程を整備し、列品等を来場者の特別観覧に供した。

**(d) パナー広告**

規程を整備し、ウポポイ公式HPへの民間企業等の広告掲載を受け付けた。

**(e) ケータリングカー等の配置**

登録・出店に係る要領を定め、園内適所にケータリングカー等を配置し、来場者の利用に供した。

#### 第4 賛助会員の状況

区 分	入会者数	退会者数	現 在 数	備 考
個人会員	16	44	79	アイヌ文化普及啓発資料としてカレンダーを作成
法人会員	1	3	8	
合 計	17	47	87	

#### 第5 事業報告の附属明細書

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、これを作成しない。

2024（令和6）年 6月19日

公益財団法人 アイヌ民族文化財団